



**入倉式の断層モデルでは地震を過小評価！  
原子力安全委は妥当性を審議して下さい！  
大間原発の安全審査をやり直して下さい！**

**孤立した断層は最低20扣、M7の地震を考慮して下さい！  
関電は美浜・大飯・高浜原発の活断層を評価し直して下さい！**

**8月20日(水)午後6時から 関電本社** (地下鉄 肥後橋 駅下車)

**「仕切り直しの再関電交渉」**

関西電力は、「入倉式」の断層モデルの妥当性を説明して下さい。

東京電力が公表した「はぎと波」を使って、

**原発の耐震性を評価し直して下さい。**

関西電力は、誠意をもって 原発の耐震性  
について公開討論会を開いてください！

原発の耐震性について、多くの人々が不安  
を持っています。昨年7月16日、新潟県柏崎刈  
羽原発がM6.8の直下地震によって、緊急停  
止しました。7基の原発全てに、建設時の設計  
で考えていた地震動をはるかに超える力が襲っ  
たのです。柏崎刈羽原発は廃炉にしなければ  
なりません。国や電力会社が、「原発は大丈夫  
だ」と力説し、叫んでも、次々と襲う地震の力を  
目の当たりにしている私たちは、やはり原発は  
危ない」と思います。各地で地震が頻発し、不  
安は高まる一方です。そこで、私たちは、関西  
電力に「ぜひ福井と大阪で公開討論会を開い  
て欲しい！」とお願いしてきました。

しかし 関電は、「不安が広まっているという  
認識はない。」耐震指針に基づいてバックチ

ェックをして中間報告をした。その反響などい  
ろんな声を聞く中で不安が広がっているとい  
う認識は持っていない。」と 開き直っていま  
す。私たちは、公開討論会を開くように、再度  
要求していきます。

関電に中間評価の妥当性を再度求めます

私たちは、関電に  
対し 美浜原発に近  
い野坂断層と海域B  
断層の「連動」につ  
いての詳しいデータ

を公開するよう求めています。中間報告の妥当  
性を客観的に評価するには、より詳しいデータ  
の即刻公開が不可欠です。誰でもが、なるほど  
と納得できるものでなければなりません。

大飯・高浜原発については、近くにある熊川  
断層の西方海域への連続性、FO-A断層とFO



-B断層の連続性、原発敷地近傍にあるリニアメントが活断層ではないと判断した根拠などについて、詳しい説明を求めています。

政府は、国内の地震に対し「入倉式」断層モデルが妥当かどうか、きっちり審議せよ！

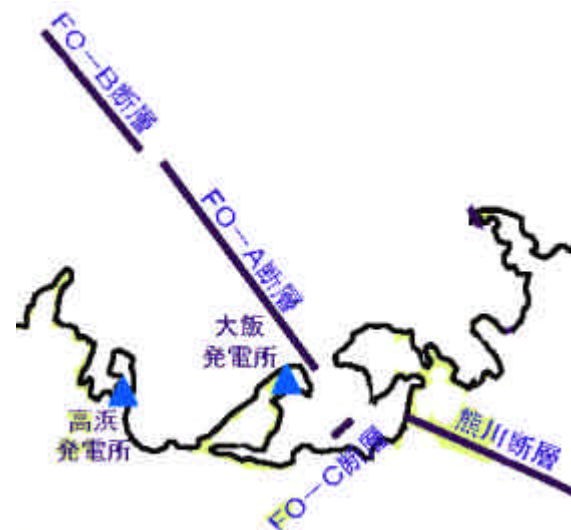
国や電力会社は、原発はとても頑丈に建てられているから大丈夫だと、宣伝してきました。しかし、地震動には、短周期の地震動(ビビリ振動)や長周期の地震動(ゆっさゆっさ振動)などがあり、原発は、ビビリ振動の強い直下地震に弱いのです。直下地震によるビビリ震動で建屋や施設が壊れたり、変形してしまうのです。

新潟県中越沖地震は、柏崎刈羽原発7基のすべてで3000件以上の損傷・トラブルをもたらしました。原発設計時に想定された地震の揺れを遙かに超える大きな地震動が原発を襲ったのです。それでも東京電力は、「想定以上の地震が本社の原発を襲いましたが、自動停止はしましたし、放射能は漏れなかったので、安全性は証明されました」として、原発の運転再開に動き出しています。

私たちは、今年の7月3日、原子力安全 保安院や原子力安全委員会との交渉で、柏崎刈羽原発の解放基盤表面の地震波(はぎとり波)を全原発に適用するよう強く求めました。

「入倉式」の断層モデルが原発耐震性の評価法として利用されていますが、このやり方では、中央防災会議(内閣総理大臣が会長)が指摘しているように、地震の規模が大幅に小さく評価されてしまいます。しかし、青森県大間原発の安全審査では、「入倉式」を利用してもよいかどうかをきちんと議論しないまま、「入倉式」で耐震安全性を評価したことがわかりました。原子力安全委員会は、大間原発の耐震安全性に関する安全審査を最初からやり直すべきです。

原発周辺では、電力や国が想定した地震をはるかに超えてしまう地震が実際に起こる危険がますます高まってきています。地震による原発重大事故は、大量の放射能を放出し、多くの



美浜・大飯・高浜原発周辺の活断層 (総合資源エネルギー調査会 耐震・構造設計小委員会 地震・津波、地質・地盤合同WG(2008年7月)での関西電力説明資料より)

人々はヒバクさせられ、社会は壊滅状態となってしまいます。原発周辺にある孤立した断層については、断層の長さを最低20km、マグニチュード7以上、最近の地震を考慮すればM7.3として評価し直すべきです。

私たちは関西電力に対して大飯・高浜・美浜の全原発の運転停止を求め、M7.3の直下地震に耐えられない原発は閉鎖するよう求めます。全国の老朽原発が一層地震に弱いことは明白です。M7.3の直下地震に耐えられない全国の原発の閉鎖を求めていきましょう。

今後の予定

被爆63周年原水爆禁止世界大会 広島大会

8月 5日(火) 午後2時~4時半

ヒバクを許さないつどい PART 9

場 所：ホテルチュールリッヒ4F 広島市東区光町2-7-31 (082-262-5111)

8月 5日(火) 午前9時45分~12時半

劣化ウラン禁止を求めて

ークラスター-爆弾禁止から劣化ウラン兵器禁止へー

場 所 広島市まちづくり市民交流プラザ5F研修室 広島市中区袋町6-36 (082-545-3911)

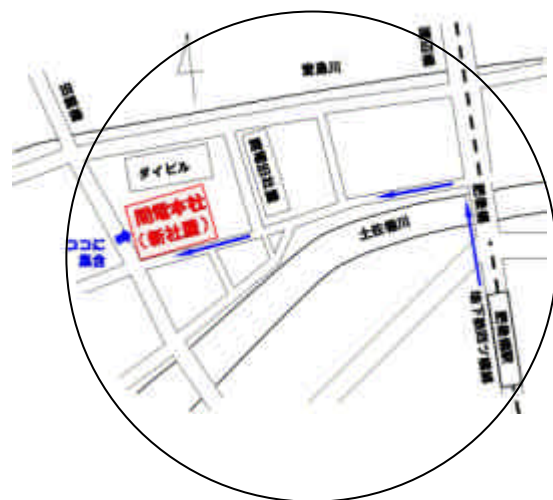
8月 20日(水) 午後6時~

対関西電力との交渉続き

中間報告について

場 所：関西電力 本社

(地下鉄四ツ橋線 肥後橋 駅下車)



8月24日(日) 午後1時~5時

「もんじゅ」公開討論会in関西

- 活断層の上の「もんじゅ」、なぜ動かすのか -

場 所： 浪速人権文化センター 小ホール (JR環状線 芦原橋 駅下車 すぐ)

主 催： とめようもんじゅ」関西連絡会

9月21日(日) 午前10時~午後3時

「戦争はいやや! 核なんかいらへん!」

2008反核フェスティバル

場 所： 大阪市 長居公園 南児童遊園 (地下鉄 長居 駅下車 長居公園内)

編集後記

- ・ 暑中おみまい申し上げます。大阪の地も連日猛暑です。
- ・ また「伏在断層」が動き岩手・宮城内陸地震が起こり、山崩れ、崖崩れ が起こりました。地表から8キロメートルの浅い震源でした。その後、岩手沖地震が起こりました。これは民家は何ともなかったのですが、窓ガラスが粉々に破壊されました。深さがなんと108キロで、スラブ内地震だったそうです。これらは短周期振動(ビビリ振動)が強かったと言われています。「死んだ断層だ、地震は起こらない」と予想されていたのですが、「死んだ断層」も「活」きていたのです。不確かなときは、どこでもM7.3は起こるとして、地震対策をとることが当たり前なのです。しかし、一番厳しくしなければならない地震対策をやっていないのが各地の原発なのです。原発震災が起こる前に止めなくては・・・ きよ子